



国府小だより

第22号

令和3年12月10日(金)

学校運営協議会の皆さんと児童会役員が懇談会

「みんながあいさつを大切に生活しているのはどうだろう」

国府小学校では、毎年児童会役員（前期・後期）10名と学校運営協議会の委員の皆さんで一つのことについて考えを聞き合い、話し合う場をもっています。今年のテーマも例年と同じ「あいさつ」についてです。学校アンケートでも見えて課題となっているあいさつを取り上げました。今年はいさつをする意味について、考えを出し合いました。子どもたちは事前に考えをまとめ会に参加しました。そしてそれぞれのグループで出てきた意見をまとめていきました。



「あいさつをすると気持ちがすっきりする」「あいさつをすることで人とつながることができる」「自分がここにいるよという発信ができる」「相手を思いやる気持ちから挨拶は生まれる」「あいさつをすると笑顔になるから」「会話の始まりで人間関係をつくる」「あいさつを交わすと相手の状態がわかる」など、たくさんの視点で意見が出されました。

この懇談会を経て、児童会は話し合いで学んだことを全校に向けて集会で発信をしていく予定です。この後引き続いて行われた、学校運営協議会では子どもたちへの啓発とともに地域がまずはあいさつをしていくようになることも大切であるという意見が出されました。まちづくり協議会とも連携し、学校としてもあいさつを気持ちよく自分からできる子どもたちを育てていきます。



12月1日は市制記念給食 お弁当箱給食

この日の給食は市制記念日給食です。鈴鹿市の食材を使った献立でした。ご飯は「とり飯」です。まさに国府地区の郷土料理でした。そして、とこわか国体で選手や関係者に渡されるはずだったお弁当箱をいただき、お弁当給食となりました。

また、給食を食べながら、市長さんのメッセージとともに、サッカー「鈴鹿ポイントゲッターズ」ハンドボール「三重バイオレットアイリス」ラグビー「三重ホンダヒート」の3チームからのビデオレターを視聴しました。

準備は大変でしたが、選手たちからの楽しく熱いメッセージを聞き、いつもと違う給食をおいしくいただきました。



4年 車いすバスケットボール体験

11月30日(火)5、6限目に4年生が、社会福祉協議会の方にお世話になり、車いすバスケットボールの体験を通して、車いすの理解を深める学習をしました。生活で使用する車いす、陸上競技で使用する車いす、テニス用、バスケット用と形も目的も違う車いすを紹介していただき、目的に応じたつくりになっていることに、感心していました。この後、自分たちもバスケット用の車いすを体験し、右に回ったり、左に回ったりして練習しました。



※

※今年度の漢字検定は見送ります。来年度コロナの感染状況を見て再開予定です。